

図書館だより 6・7月号 丹原高校図書委員会

読書週間 7月1日(火)～7月15日(火)



朝のSHR時、全校で本を読むひとときを持ちましょう！

本であれば、何を読んでもかまいません。(ただし、マンガや雑誌を除きます。)

自宅から持ってきた一冊でも、図書室で借りた本でもOKです。

いい機会なので是非図書室へ!!

朝読書 四原則

みんなでやる
毎日やる
好きな本でよい
ただ読むだけ

朝読書では、「みんなそれぞれ自分の読みたい本を読む」という点がポイントです。

感想文や評価とは関係のない、自由な読書活動。

「みんなでやる」・「毎日やる」・「好きな本でよい」・

「ただ読むだけ」という四原則で実施します。

○丹高の朝読書 スローガン○

みんなでつくる10分間の静寂
自分と向き合う大切な時間



6月9日(月)の文化講演会では、
ジャーナリストの工藤律子さんに、
『「競争」より「協同」 自分らしく生きる
ために』という演目で講演をしていた
できました。

主催の公益財団法人一ツ橋文芸教育振
興会様より、「集英社文庫 100冊セット」
を寄贈していただきました。



「集英社文庫 100冊」貸出できます。

あなたの好きな本に出会えるかもしれません。図書室へ見に来てください。
緑の本立てに展示しています！

今月は、工藤律子さんの著書を紹介します。



『働くことの小さな革命』

ルポ 日本の「社会的連帯経済」

著者 工藤律子

工藤さんが講演会で話されていた「社会的連帯経済」の在り方について書かれています。既存の資本主義経済とは異なる経済を作ること、誰もが人間らしく、安心して暮らせる社会を築こうと歩む人たちが形成しています。なんだか難しそうですか？本書に出てくる「地域」「つながり」「共有」といったキーワードは、丹高生にとってはなじみがありますよね！是非読んでみてください。